

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	親水と SDGs 小委員会	主 査 名：上山 肇 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (水環境運営委員会)	委員長名：秋元 孝之 主 査 名：中野 民雄
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会では、新たに社会における環境面において大きなテーマとなっている「SDGs」を取り上げ、親水を取り巻く環境問題について広く SDGs と関連させながら発信していくことを目的としている。</p> <p>初年度：各委員が今まで取り組んできた親水に関する研究を今一度「SDGs」に照らし合わせ検討したものについて報告してもらい議論を重ねる。 2 年度：初年度に検討したものを SDGs の 17 の指標に照らし合わせながら整理する。その成果については、水環境シンポジウム等の発表も行うことで社会への還元をはかる。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：上山 肇 (法政大学) 幹事：菅原 遼 (日本大学) 委員：市川 尚紀 (近畿大学)、田中 貴宏 (広島大学)、飯田 哲徳 (建設技術研究所)、 青木 秀史 (オリエンタルコンサルタンツ)、岡村 幸二 (建設技術研究所)、畔柳 昭雄 (日本大学)、村川 三郎 (広島大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	42,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 6 回の小委員会開催 (オンライン) を通じて、6 名の委員の研究内容と「SDGs」との関連性について議論を行なった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 2022 年度は現地調査を実施出来ていないため、2023 年度は親水空間と SDGs との関連性の高い事例について、適宜現地調査を実施する。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 表中の赤文字「(設置目的) (書名) (名称) (資料名)」は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2022 年度 小委員会活動 自己評価

(○中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2022 年度に発足した本小委員会は、今年度計 6 回小委員会を実施することができた。</p> <p>初回の設立趣旨説明から始まり、以降、各委員に自身のこれまでの研究と SDGs との関わりに関連させながら毎回発表者を決め持ち回りで発表をしてもらっている。そのことを通して親水と SDGs との係わりについて委員相互に議論しながら確認することができている。</p> <p>今年度途中から佐々木美貴氏が新たに委員として加わった。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集

した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。